



みんなで減らそう！ 食品ロス



10月は 食品ロス 削減月間

食品ロスが大量に発生することは、食べものを無駄にしていることのほかにも様々な問題につながります。

私たち一人ひとりが食べ物を無駄なく、大切にすることはこれらの問題の解決につながります。この機会に、「食品ロス」について考えてみませんか？

問 環境課 ☎(72)4438

食品ロスを削減するメリット

家計にやさしい

家計の支出 ↓ 減



食品を必要な分だけ、無駄なく購入することは、家計の節約につながります。

社会にやさしい

税金の支出 ↓ 減



廃棄物の処理にかかる経費が減ることで、税金を別の使い道に活用できます。

地球にやさしい

環境負荷 ↓ 減



温室効果ガスの排出削減につながります。

食品ロスにしないために

● 私たちに
できることは…？



1 食品ロスを減らす3つのない

食品ロスの約半数は、家庭から排出されます。せっかく購入した食品の一部を無駄にして捨てているということです。ちょっとした気遣いや行動で、食品ロスを減らすことができます。



買いすぎない



作りすぎない



食べ残さない

2 フードドライブをご存じですか？

約383kg

皆さんは、この数字が何を示しているのかわかりますか？



実施手順

この数字は今までに町が実施した「フードドライブ」で、皆さんから寄付していただいた食品の量（重さ）になります。

1年間に発生する生ごみ類の量に比べるとわずかと思うかもしれませんが、これらの取組みが町の食品ロスを減らす第一歩になります！

● フードドライブをやってみよう！

フードドライブは地区や団体、イベントなどで自らが行うことができます。実施手順は町ホームページに掲載していますので、積極的にご活用ください。

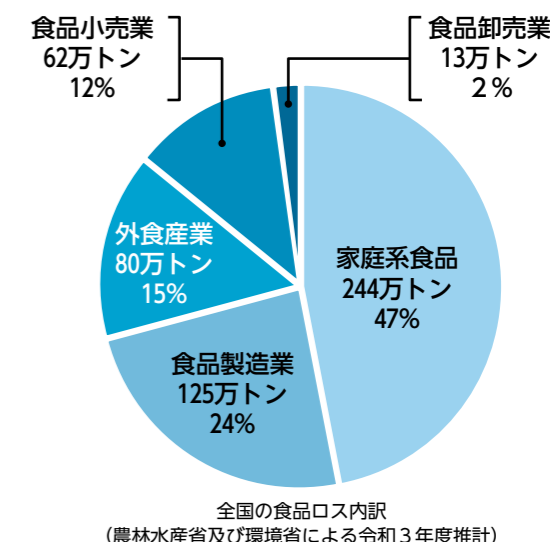


「食品ロス」とは、まだ食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のこと。

食品ロスは、2030年までに世界中の人々が将来に渡って豊かに暮らすことができる「持続可能な社会」の実現を目指す、世界共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の“目標12. つくる責任つかう責任”に取り上げられています。

世界中では、途上国を中心に貧困と飢餓に苦しむ人がいる一方で、まだ食べられる食品が大量に捨てられてしまう食品ロスがあることが課題となっています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



なぜ食品ロスが問題なの？

食品の生産・製造や輸送などに使った資源やエネルギーが無駄になるうえ、食品の処分（廃棄物処理）にも新たな資源やエネルギーが必要となり、温室効果ガスのさらなる排出につながってしまいます。

大磯町の食品ロスの状況

年間の生ごみ類の発生量 約2,600トン(推計)

大磯町の家庭から排出される可燃ごみの一部を調査したところ、おおよそ3割から4割が生ごみ類でした。

これらの生ごみ類のうち、「調理くず」などを除いた「直接廃棄（未開封の食品や未処理の食材）」や「食べ残し」などが食品ロスであると考えられます。

中には、袋を開けていないパンなどの手つかず食品もありました。「もったいない」を減らしていくことが食品ロス削減につながります。



日本の食品ロス量(523万トン)は
日本国民が毎日ご飯茶碗
1杯分の食品を
捨てていることを意味します。



▲ 展開検査の実施結果(直接廃棄)